

發行兼編輯人 川崎文治
印刷所 常盤每日新聞社

常盤新聞

定部五錢
廣告費五錢
印刷費五錢
電話三六二番

十日廿九日夕刊

電気部施設
モートル 變壓器 修理
平町月見町
佐藤鐵工所電気部
電話三六二番

子イ子店
自安ク
クースーリ
クースーリ

関内薬舖
薬劑師関内栄助
電話四〇番

電話
露披設新
話電
平町土橋通り
原齒科醫院

露披御
獵銃製造工場
修理工場

從來當地方ニ銃砲製造修理所ナク皆
様ハ多額ノ費用ト御不自由トニ煩ハ
サレタ事ヲ遺憾ニ堪エマセンデシタ
ガ弊店ハ平素ノ御高庇ニ酬ヒ度ク存
シ萬難ヲ排シ横濱、東京各銃器工場
カラ腕ノ勝レタル技術者ヲ招ギ工場
ヲ新設致シマシン各般獵銃、空氣銃
ノ新調及修理ノ御要求ニ應ジ價格ヲ
最モ低廉ニ日限確實、小修理等ハ御
待合ノ内ニ調製致シマスカラ何卒御
用命ノ程ヲ御願ヒ申上マス尙葉書カ
電話デオ問合セ次第御返事シマス

目丁一町平城警
内店藥火砲銃平社會資合
所造製砲銃邊渡
番一四四話電

隨筆
世相甚だ險惡(二)
長橋野人

近代の思潮は確かに進歩して居る、そう云ふ進歩は喜ぶべきものであり、且つ新思潮を以て一概に險惡であると思つて排斥する頑迷な舊思想には、われ等は無條件に共鳴する事は出来ない、

而しながら、一方に於て世相は益々險惡、文明の施設の益々加はる一方われ等の生活は愈々悠雅安泰なるを得ない事は、日常惹起される事象に依つて知る事が出来る

來る

頑迷者流は、此險惡に流れ行く世相の原因の全部をば新思想の結果であると云ふ然しながらわれ等は苟くも復雜なる社會事相の批判に對して、一圖に非分析的なる態度を執るものに贊する事は出来ない

文化は若し人類生活の安泰を齎らすものでなければ、われ等は文化を欲しない、而も文化が進歩しつつある現代に於て反對に各人の生活が安泰なるを得ないと云ふ事は單に新思想の結果であるとは考へられぬ

然しながら「世の中が開ければますます八釜しくなる」と云ふ世上の人達の感想は確に一面の事實である、然らば文化なるものは世相を險惡にするものである乎、但しは他の原因に依つて此の如き状態を呈するのであるか、之等は爲政者の大いに研究しなければならぬ點であらう

被治者を壓迫さへすれば、國家が圓滿に治り行くものであらうと考へた低級なる徳川政治の現實は悉く明治維新の際に暴露した

(續)

急告貸家
本町通り目抜の場所にて角家敷貸し度し
姓名在社

美味で評判の
遠藤パン
(平驛前)

天長佳節日發行
山田綠雨著
故山管見
附 綠雨小集

「内容」(管見之部)
▼人物管見(石城、双葉二郡人物六十名……)
▼文明文化管見
▼生活管見
▼自然管見(小集之部)
▼小説文
▼斷想、隨感
▼聖夢(哲學小説)
▼和歌、俳句、雜編

平町田町 電話三三三番
丸登株式店
川添房二郎

各種流行新柄入荷
流行新柄の秋物及び冬物防寒品
澤山揃ひました

どうぞお早く……
平町一丁目(電話二一七番)
仙台屋吳服店

おいしものは
誰方でも好きです
早くマツモトヤの甘納豆を
召上り下さいまし

目丁四町平
ヤトモツマ
番四一二話電

福島共榮無盡株式會社代理店
衛生材料、被服、藥品、食料品
和洋小間物、雜貨、卸小賣

大谷保太郎商店
平町南町(電話三四四番)
外交員數名募集

株式賣買中値
電話に金融致し

銘柄	拂込	時價
警城銀行	五〇〇	五三、五
平銀行	五〇〇	六八、〇
警越銀行	一一、五	一〇、五
警城實業	五〇〇	四二、〇
警城實新	三〇、〇	二八、〇
田村實銀	一一、五	一一、五
四倉銀行	一七、五	一七、五
農工銀行	二〇、〇	二五、〇
同 新	一五、〇	一九、〇
百七銀行	五〇、〇	五五、〇
同 新	一一、五	一六、〇
七七銀行	一一、五	九、八
郡山電氣	五〇、〇	四二、〇
同 新	二五、〇	一九、五
只見川電	一一、五	七、五
植田水電	一一、五	一五、五
好問水電	一一、五	一三、〇
警城建物	一一、五	五、〇
警城製菓	二〇、〇	二、五
平信託	五〇、〇	二五、〇
警城勸業	一一、五	一三、五
植田物産	三〇、〇	二六、〇
平製氷	二五、〇	一八、〇
好問軌道	五〇、〇	三〇、〇
入山新	三三、五	一七、〇
小田炭礦	二五、〇	八、〇
警城炭礦	五〇、〇	四一、〇
同 新	二二、五	一八、〇
警城セメン	五〇、〇	六二、五
同 新	三三、〇	四三、〇
平運送	一一、五	八、〇

賣買誠實懇切機敏に御取扱
申候間多少に不拘御用命願
上候

懸賞募集

かふ違が字ふ云こん何

平町三丁目中野呉服店が冬衣新着の廣告ビラを本社専屬印刷工場警陽社にて印刷し明日吉田新聞販賣の各新聞紙に折込むと同時に全町に亘り五千枚を配布する筈ですが其ビラの中で肝甚な文字を一字違へてあります、何んと云ふ字が間違つて居ますかコレを發見した方に對して左の賞品を呈します (但し應募答案多數の際は抽籤)

一等 官製ハガキ百枚 一名
 二等 官製ハガキ五十枚 二名
 三等 副賞名入手拭一本 六名
 選外 副賞名入手拭一本 卅名

注意——(締切)本月卅日迄(用紙ハガキ)
 (宛名)平町長橋町常警毎日新聞社(發表)
 來月一日本紙一週年記念紙上にて

仙臺に榮轉する

佐藤檢事の感慨談

平地方の進展に

平區裁判所檢事佐藤忠雄氏は今回仙臺地方裁判所上席檢事に榮轉し不日出發の筈であるが同氏は平檢事局に在任四ヶ年に及び其間名敏なる手腕を揮つて事件の處理に努め殊に人格が高潔であつた爲め地方人士より非常に崇敬され轉任を惜しむ者多いが同氏の爲めには大榮轉であるのだからせめてもの心遣りに其行を壯んにしやうと寄々協議中の由である、尙ほ同氏は往訪の記者に語る「病氣保養の理由を以つて

當地に 赴任し來たのであるが幸ひ體も壯健と町を中心としての本郡は甚だ政黨的に人心が禍されて居る點が可成深刻らしく觀察されます、政黨的な偏見から是非となし反對黨なるが故に反對すると云ふ嫌があつて地方開發上非常な支障を來して居る傾が歴々として見える、是れは甚だ

感想を 述べれば平

平區裁判所檢事佐藤忠雄氏は今回仙臺地方裁判所上席檢事に榮轉し不日出發の筈であるが同氏は平檢事局に在任四ヶ年に及び其間名敏なる手腕を揮つて事件の處理に努め殊に人格が高潔であつた爲め地方人士より非常に崇敬され轉任を惜しむ者多いが同氏の爲めには大榮轉であるのだからせめてもの心遣りに其行を壯んにしやうと寄々協議中の由である、尙ほ同氏は往訪の記者に語る「病氣保養の理由を以つて

遺憾千萬な點であつて 平町の 如きは將來益々多事多端なのでありますから自活問題の如きに對しては是非共黨臭を帯びずるに最善を期する様自覺が肝要であると思ひます、夫れから平町が炭礦のお蔭を蒙らねば仲びる事が出来ない

諏訪神社の神主が

煙草の火から生不動

家人の留守中に

石城郡赤井村鹽田字宮の前郷社諏訪神社司自土矢柄(五)は三年前から中風症にて臥床中昨日午前八時頃家人の留守中に不自由な身を起して煙草を吸つたが吸ひ殻の火が蒲團に燃え移り生不動様となつて惨死せる由

宮崎檢事は

赤門の出身

佐藤檢事の後任宮崎正己氏は高知縣安藝郡土居村の出身にして大正二年十月赤門法科を卒業し静岡、松山、弘前、青森を歴任大正九年



家庭欄

生卵子の榮養價

生み立ての生卵子の榮養價の大なる事は今更申上げずとも御存じでせうが、最近の學説では生卵に含まれる

八歳の男兒

然も二名で

既報湯本泉兩驛間の上り線グイタミンのAは肝油のAにも優り、恐らく人間の活動慾の本源をなす本能慾を増さしむる點ではこの生卵子に勝つものはないやうです、なほ蛋白質や脂肪の外に硫黄や磷物質が適當に含んでゐる爲め頭髮を密生せしめ光澤をよくし白毛をも黒くする作用をもつてゐま

川に身投げ

實子に逢ひ

横須賀市高橋イチノ(四)は富岡町の双葉製糸場に働いて居る實子武夫の許に赴く途中昨日午後一時頃平驛に下車し夏井川に投身自殺を企てた際鎌田町消防手加藤捨吉君に救はれ平驛にて保護を加へ前記武夫を呼び出して引渡したが原因は種々の事情に纏綿せる事があるらしく夫れを苦慮した結果である

不平受付

投書歡迎

組合の決算報告 濱三郡木炭同業組合は創立以來收支決算を一回も報告しないが如何なる理由です

(二組合員)
 ●同組合書記鈴木浪吉氏
 ●同組合書記鈴木浪吉氏

常磐片々

今年しや炭礦の厄年、石城の三大炭礦公平に自然の暴威に祟らる

競技の審判じやあるまいし公平にもよりきりだ

子に逢ひに行く途中で投身汽車のノロイのに業を煮やしての事か

今日今頃の天気降つたり照つたり、氣を揉ませるにも程があるママにじやがれ

平支部の件數 福島地方裁判所平支部の本年一月から本月迄の件數は普通件數九十五件、爲替同廿件人事同九件であつて昨年中の普通事件九十三件、爲替同十二件、人事同九件に比し非常な増加である

古河炭坑の

損害六百萬

今後は元山の採掘に全力を

石城郡好間村古河炭礦新墜坑坑内に熱湯湧出の爲め到底復活の見込みなく廢坑の運命に遭着し其損害額六百萬圓と註せられたが今後は元山の採掘に全力を注ぐ事になつた由

今日の晴天は

永持ちせぬ

低氣壓が速く

本月中下旬は農家の書入れといふ麥播期なるにも拘らず天候不順のため播種の手遅れしたのも尠からず雨に悩まされてゐる小名濱測候所の談に依ると低氣壓の進行極めて迅速であるから此天候がよし晴天になつたにせよ又復陰鬱な天候に逆戻りするであらうと

平郡線を全部

ボギー車に

面目を一新 平郡線は從來日に十四個列車運轉のうち三個列車だけは未だマツチ箱と稱する四輪小型客車を使用して居たが此度全部をボギー車に變更することに決し近く實現される筈だからその曉は夜間ランプ或ひはガスを使用し尠からず不便を感じて居たのが明るく氣持よいものになる譯である

平町選手出發

平町青年團から明治神宮大運動會に出場する選手青天目源一郎、佐藤隆九の兩君は明日午前九時廿五分發上り列車にて上京する筈だが團員は頗る盛大な見送りを爲し行を壯んにする由

偽警官が

女の家へ侵入

發覺して送檢

石城郡湯本町時修修業高島徳松(四)は本月一日午前一時頃双葉郡浪江町大友いそ方に忍び込み俺は警察官だと云つていそに對し怪しからぬ振舞に及んだのをいそが大聲を揚げた爲め逃走せし事浪江署に發覺され官名詐稱家宅侵入罪として平檢事局に送らる

小田株が騰る

石城郡好間村古河炭礦の出水が反つて同村炭礦に好影響を齎らし其株が昨日來上向きとなつた由